

論点 **開放モデルの均衡予算乗数**

政府支出と租税が同時に増加した時、その乗数の違いから、効率的に均衡国民所得を求められるか確認します。

ある国のマクロ経済が次のように示されています。

$$Y = C + I + G + EX - IM$$

$$C = 100 + 0.8(Y - T)$$

$$IM = 0.1Y$$

ここで、Yは国民所得、Cは民間消費、Iは民間投資（一定）、Gは政府支出、EXは輸出（一定）、IMは輸入、Tは租税を表します。いま、政府支出と租税がともに15増加したとします。このとき、均衡国民所得はいくら増加しますか。

1. 10   2. 15   3. 20   4. 25   5. 30

(国税専門官 改題)

解き方はさまざまに考えられますが、乗数のみをピックアップして解答します。

$$\text{政府支出乗数} = \frac{1}{1 - c + m} = \frac{1}{1 - 0.8 + 0.1} = \frac{1}{0.3}$$

$$\text{租税乗数} = -\frac{c}{1 - c + m} = -\frac{0.8}{1 - 0.8 + 0.1} = -\frac{0.8}{0.3}$$

これらが同時に同額で発動するので、2つの乗数を足し合わせた効果になります。

$$\frac{1}{0.3} + \left(-\frac{0.8}{0.3}\right) = \frac{0.2}{0.3} \text{ (これが**均衡予算乗数**になります)}$$

ΔGまたはΔTが15なので、

$$\frac{0.2}{0.3} \times 15 = 10$$

よって、1が正解です。